（第４号様式）

履　歴　書

本　籍　戸籍のとおり記載すること（番地等を「－」で略さないこと。）

 現住所　郵便番号は不要。番地等は「－」で略すこと。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ふ り が な

 　　 　 氏　　名 ○○　○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（改姓前の氏名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日 ○年○月○日生

（学歴）

 ・最終学歴（中退を含む。）、試験、免許、資格、学位

 （職歴）

　　（団体歴）

　　（公職歴）

　　　　・民間の職歴については、会社の名称及び役職名（代表取締役社長、代表取締役副社長等）を略さず書くとともに、同一会社ごとに在職期間の始期及び終期の年月日を正確に記載すること。

　　　　・民間団体歴については、団体の名称及び役職名（会長、副会長、専務理事、常務理事、理事等）を略さず書くとともに、同一団体ごとに在職期間の始期及び終期の年月日を正確に記載すること。

・公務員歴については、官職、官等（戦前の判任官、高等官等）、俸給（等級、号俸）、所属、階級（軍人）、軍歴、発令者等を正確に記載すること。

・元公務員の候補者についても、退官後に歴がある場合には、履歴書に記載すると

　　　　　ともに、審査票に転記すること。

　　（賞罰）

 　・叙位及び叙勲（発令年月日を記載すること。）

　　　　・褒章（受章年月日、褒章の種類及び受章理由を記載すること。）

　　　　・大臣表彰及び局部長表彰（表彰年月日、表彰の種類及び理由（○○関係功労）、（永年勤続〇〇年）を記載すること。）

　　　　・刑罰（判決言渡し年月日、刑罰の内容、処罰の理由、判決言渡し裁判所名、判決確定年月日及び刑終了年月日を記載すること。なお、当該判決が恩赦法の適用を受けている場合は、その旨を併記すること。）